

鏡野いきいき生活体験宿

参加した
児童の感想を
紹介します



6月16日(火)～20日(土)、奥津ファームビレッジ耕心村で「鏡野いきいき生活体験宿」が開催されました。この事業は、子ども達が普段通り学校に通いながら集団生活をし、食事作り、洗濯、掃除などを体験することで、自立心や協調性などを育むことを目的に実施しています。

今回は、奥津・上齋原・富小学校5・6年生あわせて21名の参加があり、4泊5日の共同生活を体験しました。慣れない家事にとまどい、慣れない環境でなかなか寝付けなかった児童もいましたが、この合宿でできた新しい友達と班活動などで交流を深めていました。

長藤地区の水田和稔さん指導の下、ぎこちない手つきでにぎり寿司や手打ちうどん作りに挑戦しました。また、長藤農場婦人部の方々にサポートしてもらいながら食事作りをするなど、地域の方とも触れ合う貴重な体験になったと思います。12月上旬には鏡野地域の小学校を対象に実施する予定です。

家で家族がやっているようなことを自分たちで全部して、大変でした。でも、お母さんはいつもこれをしていて大変だと思うので、これからは手伝ってあげたいです。中学校は鏡野中学校に行くので、人数が多くなって不安だけどいきいき生活体験宿に来ていた友達とは仲良くなれたので、これを生かして中学校ではもっとたくさん友達を作りたいです
(奥津小6年生)

友達と協力してやれば何倍もはやく仕事ができ、いろんな人と話をして、人に感謝することを忘れてはいけないということをこの合宿で学びました。お母さんは手際よく色んな家事をこなすけど、やってみたらとても難しかったのですごくいいなと思いました。色んなことをやってどれもうまくいきませんでした。いい経験になったので家でもお手伝いをしてみたいと思いました。
(上齋原小6年生)

この合宿で洗濯や洗い物をして、親の気持がわかったので今度はお母さんが困っていたら私が助けてあげたいです。来年はもう来れないけど、これから色々なこと頑張っていきたいです。今度お母さんが仕事から帰る前に家事を全部終わらせて喜んでもらいたいです。
(富小6年生)